

大会名	第1回北海道社会人バスケットボール結成記念大会														
日 時	2018年9月24日 13時00分	会 場	名寄スポーツセンター												
<勝ちチーム名> EBETSU W・B	102	<table style="border: none; display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;">24 - 15</td> <td style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;">22 - 23</td> <td style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;">23 - 12</td> <td style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;">33 - 14</td> <td style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> </table>	{	24 - 15	}	{	22 - 23	}	{	23 - 12	}	{	33 - 14	}	74
{	24 - 15	}													
{	22 - 23	}													
{	23 - 12	}													
{	33 - 14	}													
<負けチーム名> FIRST BREAK															

男 子 決 勝

【1P】

両チームともにマン・ツー・マン、FIRST BREAK はトランジションレイアップ、EBETSU W・B もゴール下を返し男子決勝がスタートする。

67番のバスケットカウントと81番のスリーでEBETSU W・Bが先行、FIRST BREAK はショットに苦しみながらも4番のスリーなどでついていく。

中盤 EBETSU W・B はセカンドチャンスから81番のスリーや11番のレイアップ、FIRST BREAK は11番のインサイドなどが単発になり5点ビハインド。

EBETSU W・B 45番のスリーと2番のフロータショットが決まり24-15でEBETSU がリードし1P終了。

【2P】

45番のスリーで二桁リードするEBETSU W・B に対し、FIRST BREAK はゴール下の合わせや91番のリバンドショットで返す。

EBETSU W・B はスティールから2番のトランジションレイアップとゴール下への鮮やかなアシスト、FIRST BREAK もゴール下へのアタックとスピード感あふれるプレーで対抗するが点差は縮まらない。中盤 速攻からなど3連続スリーを沈めた FIRST BREAK が同点へ追いつく、しかしEBETSU W・B もミドルを返しシーソーゲームへ。

終盤 11番のインサイドアタックでリズムに乗った FIRST BREAK は23番のミドルとスリーで7点リード。

対する EBETSU W・B はセットプレーから67番へボールを集め2点差まで追いつき前半終了、EBETSU W・B 46-48 FIRSTBREAK

【3P】

EBETSU W・B はゾーンDへチェンジ、ここでFIRST BREAK は35番がファーストタッチでスリーを決める、EBETSU W・B はスティールからの連続速攻と45番のスリーで逆転に成功。

中盤 EBETSU W・B はインサイドのクロススクリーンセットで67番のゴール下、FIRST BREAK はゴール下のこぼれ球やスキを突く速攻でしぶとく得点。

終盤 ボールムーブから FIRST BREAK 35番のスリーで60-60同点、しかしEBETSU W・B 45番もプルアップスリーを返し逆転は許さず。

EBETSU W・B のゾーンにスリーは外れる FIRST BREAK はオフェンス・リバウンドで粘るが、EBETSU W・B 67番のインサイドアタックを止められず7点ビハインド。

ルーズボールを粘り最後のショットも決めた EBETSU W・B が69-60、9点リードで3P終了。

【4P】

マン・ツー・マンディフェンスに戻した EBETSU W・B に対し、FIRST BREAK はセカンドチャンスで 11 番のインサイド。EBETSU W・B はトランジションから 45 番のスリー。

再び 45 番のスリーが立て続けに 2 本決まり 3 連続スリーポイントで、EBETSU W・B が一気に 14 点リードへ。

FIRST BREAK はタイムアウト後のオフenseでミスレイジーレイアップを許してしまう、点差がさらに広がったところで EBETSU W・B が 45 番・82 番の連続スリーでオフense爆発。

修正したい FIRST BREAK だがパスミスから走られてレイアップとスリーを許し一方的な展開へ、67 番のスリーで 100 へ得点を乗せた EBETSU W・B が最終スコア 102-74 で勝利。

合計 13 本のスリーポイントと要所のセットプレーで粘る FIRST BREAK を一気に引き離れた EBETSU W・B が優勝。

FIRST BREAK はスピードのある展開と粘り強くリバウンドを拾いましたがショットの確率が上がりず苦しいゲームでした。

記録者	後藤 剛	所属	名寄地区バスケットボール協会
-----	------	----	----------------